

平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況(非連結)

上場会社名 株式会社ソフトフロント(URL http://www.softfront.co.jp)

コード番号 2321 G

代表者 代表取締役社長 阪口 克彦

問合せ先責任者 執行役員経営企画室室長兼管理本部本部長

佐藤 健太郎

TEL(011)623-1001

1. 四半期財務・業績の概況の作成等に係る事項

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : (有)・無

(内容)

当事業年度より製品保証引当金の計上を行っております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 有・(無)

公認会計士又は監査法人による関与の有無 : 有・(無)

2. 平成19年3月期第3四半期の財務・業績概況(平成18年4月1日～平成18年12月31日)

(1) 経営成績の進捗状況

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	575	73.0	91	-	92	-	94	-
18年3月期第3四半期	332	11.3	244	-	251	-	252	-
(参考)18年3月期	537	-	238	-	246	-	249	-

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	1,097.07	-
18年3月期第3四半期	3,040.39	-
(参考)18年3月期	2,978.46	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期会計期間(平成18年4月1日～平成18年12月31日)におけるわが国経済は、公共投資は減少傾向にあるものの輸出は増加を続けており、また、企業収益が高水準を続け、業況感も良好な水準で推移する中、設備投資も引き続き増加しており、景気は緩やかな拡大を続けてきている状況で、この傾向は今後も続くと思われております。

一方、通信業界においては、携帯電話のパケット網を使ってマルチメディアサービスを実現させるための標準規格であるIMS(IP Multimedia Subsystem)が、第3世代(3G)携帯電話のデータ通信速度を高速化させた通信規格である3.5Gの広まりとともに注目を集めております。このIMSを包含する規格として、国際標準化機関ITU-T(International Telecommunication Union-Telecommunication Standardization Sector)を中心に検討を進めている次世代基幹ネットワークNGN(Next Generation Network)も注目されており、このNGN構想の下、大手通信キャリアが基幹通信網のフルIP化や次世代携帯電話のIMS対応を進展させており、固定(Fixed)電話と携帯(Mobile)電話を融合(Convergence)させる「Fixed Mobile Convergence(FMC)」の展開等を含め、新たなネットワーク構築、サービス提供に大きく動き出しております。NGNは、事業者にとっては新たな収益獲得の機会とコスト削減のメリットがあり、またユーザーにとっては信頼性向上と利便性向上のメリットがあるため、その本格的な展開が期待されており、その中においてSIP関連技術を利用することが既に採択されております。2006年においては、NTT社のNGNフィールド・トライアル開始、ソフトバンク社の携帯電話事業への本格参入、携帯電話各社の3.5G高速データ通信サービスの提供開始など、通信業界の動きは活発であり、

競争環境が激しくなる中、市場の拡大が期待されます。

このような市場環境の中、当社は「当社のSIP技術をデファクトスタンダードにする」、「ライセンスビジネスを成功させる」という2つの目標を達成すべく、5ヵ年計画「第1次Excellent Company構想」の下に事業活動を進めており、特に平成19年3月期においては、高収益体質確立のため、売上の拡大と通期での黒字化達成に取り組んでおります。当第3四半期会計期間において、事業面においては、NECエレクトロニクス社の新発想プラットフォーム「platform OViA」に関する業務提携の推進と同社の携帯ビデオトランシーバーソリューションでのSIPミドルウェアの採用、パナソニックモバイルコミュニケーションズ社のIPテレビ電話対応携帯端末試作機でのSIPミドルウェアの採用、NEC社Push to XのPC/スマートフォン用クライアントソフトでのSIPミドルウェア採用を通じたNGNフィールドトライアルへのNGNサービスのベースとなる技術の提供、先進的なIMS技術を持つドイツg microtec社との業務資本提携など、市場の伸びが期待されるNGNやIMSに関する先進的なネットワーク構築や携帯電話等を含む様々な端末機器開発などの分野において、製品実用化に向けた事業活動を本格的に展開しております。

これらの施策を推進する中、当社の当第3四半期会計期間の業績は、売上高575,061千円、営業損失91,306千円、経常損失92,878千円、第3四半期純損失94,074千円となりました。

売上高につきましては、主にSIP搭載端末の実用化に向けた受託開発案件の増加により、575,061千円(前年同期比73.0%増)と前年同期実績を242,671千円上回る増収となりました。当事業年度の黒字転換に向けて、各種営業活動を精力的に進めている状況であります。

売上原価につきましては、受託開発案件の増加に伴い、外注加工費が増加するなど、269,331千円(前年同期比80.4%増)と増加いたしました。売上総利益につきましては売上高も上記のとおり増加したため、305,730千円(前年同期比67.0%増)と前年同期実績を122,644千円上回りました。

販売費及び一般管理費につきましては、全社的な経費削減活動を展開したこと、各種基盤強化施策が前事業年度において一段落したことなどの理由から、397,036千円(前年同期比7.2%減)と減少いたしました。

営業損益につきましては、売上高は増収となったものの売上総利益で販売費及び一般管理費を吸収できないことから、91,306千円の営業損失(前年同期は244,976千円の営業損失)を計上しておりますが、その損失額は前年同期実績に比べ153,669千円減少しております。

経常損益につきましては、営業外収益が299千円(前年同期比43.5%減)、営業外費用が1,870千円(前年同期比74.9%減)となり、92,878千円の経常損失(前年同期は251,893千円の経常損失)を計上いたしました。なお、営業外費用につきましては、主に新株発行費や支払利息などが減少したため、前年同期実績を下回っております。

税引前第3四半期純損益につきましては、特別利益が618千円(前年同期比34.3%減)となり、特別損失の計上がなかったこと(前年同期は86千円の特別損失)から、92,259千円の税引前第3四半期純損失(前年同期は251,039千円の税引前第3四半期純損失)を計上いたしました。なお、特別利益につきましては、貸倒引当金戻入益の発生によるものです。

第3四半期純損益につきましては、法人税等を1,815千円計上したため、94,074千円の第3四半期純損失(前年同期は252,854千円の第3四半期純損失)を計上いたしました。

(2) 財政状態の変動状況

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	1,432	1,314	91.8	15,311.33
18年3月期第3四半期	1,454	1,277	87.8	15,091.21
(参考)18年3月期	1,527	1,393	91.2	16,252.44

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	102	191	16	792
18年3月期第3四半期	100	87	557	1,127
(参考)18年3月期	204	101	650	1,102

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては、1,432,221千円(前事業年度末比6.2%減)となりました。

流動資産につきましては、売掛金は269,902千円(前事業年度末比39.5%増)と増加したものの、主にfg microtec社への出資を行ったことにより、現金及び預金が792,462千円(前事業年度末比28.1%減)と減少したため、1,085,419千円(前事業年度末比17.6%減)となりました。

有形固定資産につきましては、減価償却により減少し、24,891千円(前事業年度末比13.6%減)となりました。

無形固定資産につきましては、商標権が増加したものの、ソフトウェアが減価償却により減少し、94,534千円(前事業年度末比11.8%減)となりました。

投資その他の資産につきましては、主にfg microtec社への出資に伴う投資有価証券の増加により、227,375千円(前事業年度末比207.2%増)となりました。

当第3四半期会計期間末の負債総額につきましては、117,406千円(前事業年度末比12.7%減)となりました。

流動負債につきましては、借入金の返済は順調に進んでいるものの、主に営業未払金の増加により、83,331千円(前事業年度末比2.2%増)となりました。

固定負債につきましては、借入金の順調な返済によって、34,075千円(前事業年度末比35.6%減)となりました。

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、1,314,814千円(前事業年度末比5.6%減)となりました。これは新株引受権及び新株予約権の行使が行われたことにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ増加したものの、第3四半期会計期間純損失を94,074千円計上し、利益剰余金が3,915,454千円となったことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動による資金の消費102,497千円、投資活動による資金の消費191,005千円、財務活動による資金の消費16,246千円等により、前事業年度末に比べ、309,761千円減少し、792,462千円(前年同期比29.7%減)となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果消費された資金は102,497千円(前年同期比2.0%増)となりました。これは主に、仕入債務が4,425千円増加し、減価償却費を55,845千円計上したものの、税引前第3四半期会計期間純損失を92,259千円計上したこと、売上債権が76,406千円増加したことによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果消費された資金は191,005千円(前年同期比119.3%増)となりました。これは主に、fg microtec社への出資に伴う投資有価証券の取得による支出154,788千円、無形固定資産の取得による支出38,998千円によるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果消費された資金は16,246千円(前年同期は557,845千円の獲得)となりました。これは新株引受権及び新株予約権の行使に伴う株式の発行による収入13,873千円があったものの、長期借入金の返済による支出30,120千円があったことによるものです。

【参考】

平成19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

[業績予想に関する定性的情報等]

次世代基幹ネットワークNGN構想が本格化するにしがたい、携帯電話、ネット家電などの分野において、SIP関連技術が重要な基盤技術の1つと位置づけられており、今後もこれらのSIP関連市場の拡大傾向が続くと思われます。当第3四半期会計期間においては、これらの分野におけるSIP搭載端末の実用化に向けた受託開発案件の増加により、前年同期に比べ増収となりました。残第4四半期会計期間では、当社のお客様である多くの法人企業において決算期末を迎えることから、ライセンス販売の増加、更なる受託開発案件の増加が期待されるものの、不確定要素もあるため、平成18年5月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はなく、売上高850,000千円(前年同期比58.1%増)、経常利益60,000千円(前年同期は246,875千円の経常損失)、当期純利益57,000千円(前年同期は249,425千円の当期純損失)を見込んでおります。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。

予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる可能性がありますので、この業績予想に全面的に依存した投資等の判断は差し控えます。

添付資料

第3四半期貸借対照表、第3四半期損益計算書、第3四半期株主資本等変動計算書、第3四半期
キャッシュ・フロー計算書、第3四半期の生産、受注及び販売の状況

以上

1. 第3四半期貸借対照表

(単位：千円)

期 別 科 目	当 第 3 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成18年12月31日現在)		前 第 3 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成17年12月31日現在)		(参考)平成18年3月期 (平成18年3月31日現在)		増 減	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
(資産の部)		%		%		%		%
流動資産								
1. 現金及び預金	792,462		1,127,460		1,102,224		309,761	28.1
2. 売掛金	269,902		75,373		193,495		76,406	39.5
3. たな卸資産	828		50		1,298		470	36.2
4. その他	22,746		20,580		21,577		1,169	5.4
貸倒引当金	520		184		1,108		587	53.0
流動資産合計	1,085,419	75.8	1,223,279	84.1	1,317,487	86.3	232,068	17.6
固定資産								
1. 有形固定資産	24,891		30,431		28,798		3,907	13.6
2. 無形固定資産								
(1) ソフトウエア	89,560		107,064		102,421		12,860	12.6
(2) その他	4,974		4,349		4,774		199	4.2
無形固定資産合計	94,534		111,414		107,195		12,661	11.8
3. 投資その他の資産								
(1) 投資有価証券	176,389		-		20,000		156,389	782.0
(2) 関係会社株式	-		20,000		-		-	-
(3) 株主に対する長期貸付金	4,760		8,840		7,820		3,060	39.1
(4) 差入保証金	46,097		60,708		46,097		-	-
(5) その他	150		150		150		-	-
貸倒引当金	20		59		52		31	60.0
投資その他の資産合計	227,375		89,639		74,014		153,360	207.2
固定資産合計	346,801	24.2	231,486	15.9	210,009	13.7	136,792	65.1
資産合計	1,432,221	100.0	1,454,766	100.0	1,527,497	100.0	95,276	6.2

(注)増減(資産の部と負債の部のみ)は、当第3四半期会計期間末と前事業年度末との比較を表示しております。

(単位：千円)

期 別 科 目	当 第 3 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成18年12月31日現在)		前 第 3 四 半 期 会 計 期 間 末 (平成17年12月31日現在)		(参考)平成18年3月期 (平成18年3月31日現在)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率
(負債の部)		%		%		%		
流動負債								
1. 営業未払金	22,901		24,948		18,475		4,425	24.0
2. 一年以内返済予定の長期借入金	29,260		48,360		40,575		11,315	28.0
3. 製品保証引当金	1,888		-		-		1,888	-
4. その他	29,281		38,810		22,504		6,777	30.1
流動負債合計	83,331	5.8	112,119	7.7	81,555	5.3	1,776	2.2
固定負債								
1. 長期借入金	34,075		63,335		52,880		18,805	35.6
2. その他	-		1,478		-		-	-
固定負債合計	34,075	2.4	64,813	4.5	52,880	3.5	18,805	35.6
負債合計	117,406	8.2	176,932	12.2	134,435	8.8	17,028	12.7
(資本の部)								
資本金	-	-	2,660,241	182.8	2,716,141	177.8	-	-
資本剰余金	-	-	2,442,401	167.9	2,498,301	163.6	-	-
利益剰余金	-	-	3,824,808	262.9	3,821,380	250.2	-	-
資本合計	-	-	1,277,833	87.8	1,393,061	91.2	-	-
負債資本合計	-	-	1,454,766	100.0	1,527,497	100.0	-	-
(純資産の部)								
株主資本								
資本金	2,723,254		-		-		-	-
資本剰余金	2,505,414		-		-		-	-
利益剰余金	3,915,454		-		-		-	-
株主資本合計	1,313,213	91.7	-	-	-	-	-	-
評価・換算差額等								
その他有価証券評価差額金	1,600		-		-		-	-
評価・換算差額等合計	1,600	0.1	-	-	-	-	-	-
純資産合計	1,314,814	91.8	-	-	-	-	-	-
負債、純資産合計	1,432,221	100.0	-	-	-	-	-	-

(注)増減(資産の部と負債の部のみ)は、当第3四半期会計期間末と前事業年度末との比較を表示しております。

2. 第3四半期損益計算書

(単位：千円)

期 別 科 目	当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前第3四半期会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		増 減		(参考)平成18年3月期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
売上高	575,061	100.0	332,390	100.0	242,671	73.0	537,470	100.0
売上原価	269,331	46.8	149,305	44.9	120,026	80.4	227,263	42.3
売上総利益	305,730	53.2	183,085	55.1	122,644	67.0	310,207	57.7
販売費及び一般管理費	397,036	69.0	428,061	128.8	31,024	7.3	548,666	102.1
営業損失	91,306	15.8	244,976	73.7	153,669	-	238,459	44.4
営業外収益	299	0.0	528	0.1	229	43.4	572	0.1
営業外費用	1,870	0.3	7,446	2.2	5,575	74.9	8,988	1.6
経常損失	92,878	16.1	251,893	75.8	159,015	-	246,875	45.9
特別利益	618	0.1	941	0.3	322	34.3	25	0.0
特別損失	-	-	86	0.0	86	100.0	154	0.0
税引前第3四半期(当期)純損失	92,259	16.0	251,039	75.5	158,779	-	247,005	45.9
法人税、住民税及び事業税	1,815	0.3	1,815	0.5	-	-	2,420	0.5
法人税等調整額	-	-	-	-	-	-	-	-
第3四半期(当期)純損失	94,074	16.3	252,854	76.0	158,779	-	249,425	46.4

(注)増減は、当第3四半期会計期間と前第3四半期会計期間との比較を表示しております。

3. 第3四半期株主資本等変動計算書(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
平成18年3月31日残高	2,716,141	2,498,301	3,821,380	1,393,061	-	1,393,061
当四半期変動額						
新株の発行	7,113	7,113		14,226		14,226
四半期純損失			94,074	94,074		94,074
株主資本以外の項目の 第3四半期会計期間中 の変動額(純額)					1,600	1,600
当四半期変動額合計	7,113	7,113	94,074	79,848	1,600	78,247
平成18年12月31日残高	2,723,254	2,505,414	3,915,454	1,313,213	1,600	1,314,814

4. 第3四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

区 分	期 別	当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	前第3四半期会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	増 減		(参考)平成18年3月期 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)
		金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー		102,497	100,533	1,963	-	204,150
投資活動によるキャッシュ・フロー		191,005	87,080	103,925	-	101,270
財務活動によるキャッシュ・フロー		16,246	557,845	574,092	-	650,411
現金及び現金同等物に係る換算差額		12	81	68	-	76
現金及び現金同等物の純増減額		309,761	370,150	679,912	-	344,914
現金及び現金同等物の期首残高		1,102,224	757,310	344,914	45.5	757,310
現金及び現金同等物の期末残高		792,462	1,127,460	334,998	29.7	1,102,224

(注)増減は、当第3四半期会計期間と前第3四半期会計期間との比較を表示しております。

5. 第3四半期の生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第3四半期会計期間の生産実績を主要販売形態別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分	当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前第3四半期会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		増 減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
ソフトウェア販売	48,577	18.0	49,851	33.4	1,274	2.6
受託開発	215,767	80.1	98,999	66.3	116,768	117.9
その他	4,986	1.9	454	0.3	4,532	996.8
合計	269,331	100.0	149,305	100.0	120,026	80.4

(注) 1. 金額には、消費税等は含まれておりません。

2. ソフトウェア販売の金額は、ソフトウェア提供のための製造原価を記載しております。

3. その他の金額には、商品売上に対する仕入額が含まれております。

(2) 受注状況

当第3四半期会計期間の受注状況を主要販売形態別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分	当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前第3四半期会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		増 減	
	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)	受注高 (千円)	受注残高 (千円)
ソフトウェア販売	210,475	78,851	156,549	29,315	53,926	49,535
受託開発	545,654	129,059	249,445	62,866	296,208	66,193
その他	6,117	-	1,063	610	5,054	610
合計	762,246	207,911	407,058	92,792	355,188	115,119

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第3四半期会計期間の販売実績を主要販売形態別に示すと次のとおりであります。

(単位：千円)

区 分	当第3四半期会計期間 (自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		前第3四半期会計期間 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)		増 減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
ソフトウェア販売	144,419	25.1	137,544	41.4	6,874	5.0
受託開発	424,525	73.8	194,393	58.5	230,132	118.4
その他	6,117	1.1	453	0.1	5,664	1249.8
合計	575,061	100.0	332,390	100.0	242,671	73.0

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(参考 最近における四半期毎の業績の推移)

平成19年3月期

	第1四半期	第2四半期	第3四半期
	18年4月～18年6月	18年7月～18年9月	18年10月～18年12月
	百万円	百万円	百万円
売上高	87	320	167
売上総利益	36	171	97
営業損益	101	57	47
経常損益	101	56	47
税引前四半期純損益	101	56	47
四半期純損益	101	55	48
	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり四半期純損益	1,188.87	651.42	559.74
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-	648.59	-
	百万円	百万円	百万円
総資産	1,414	1,519	1,432
純資産	1,291	1,348	1,314
	円 銭	円 銭	円 銭
1株当たり純資産	15,063.57	15,724.67	15,311.33